



平成26年3月期 第2四半期決算説明会

説明者

代表取締役社長

小倉 忠

取締役執行役員財務部長

加藤 博



本日の内容

1. 平成26年3月期
第2四半期連結決算の概要
2. 平成26年3月期
連結業績予想と重点政策

連結子会社

連結 20社 増加1社

増加：Noritake SA (Thailand) Co., Ltd.

(新規連結によるもの)

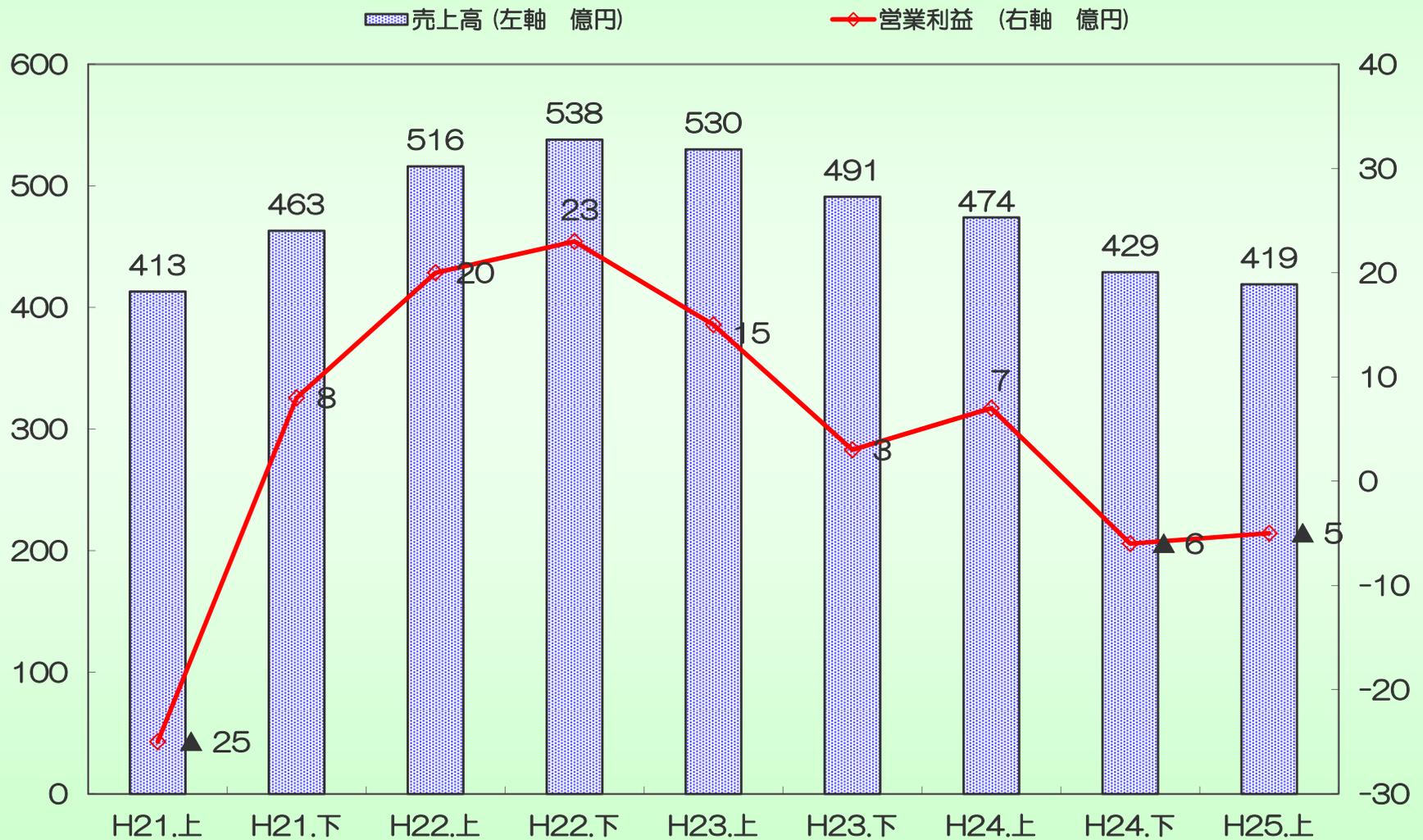
持分法 5社 増減なし

連結決算の概要

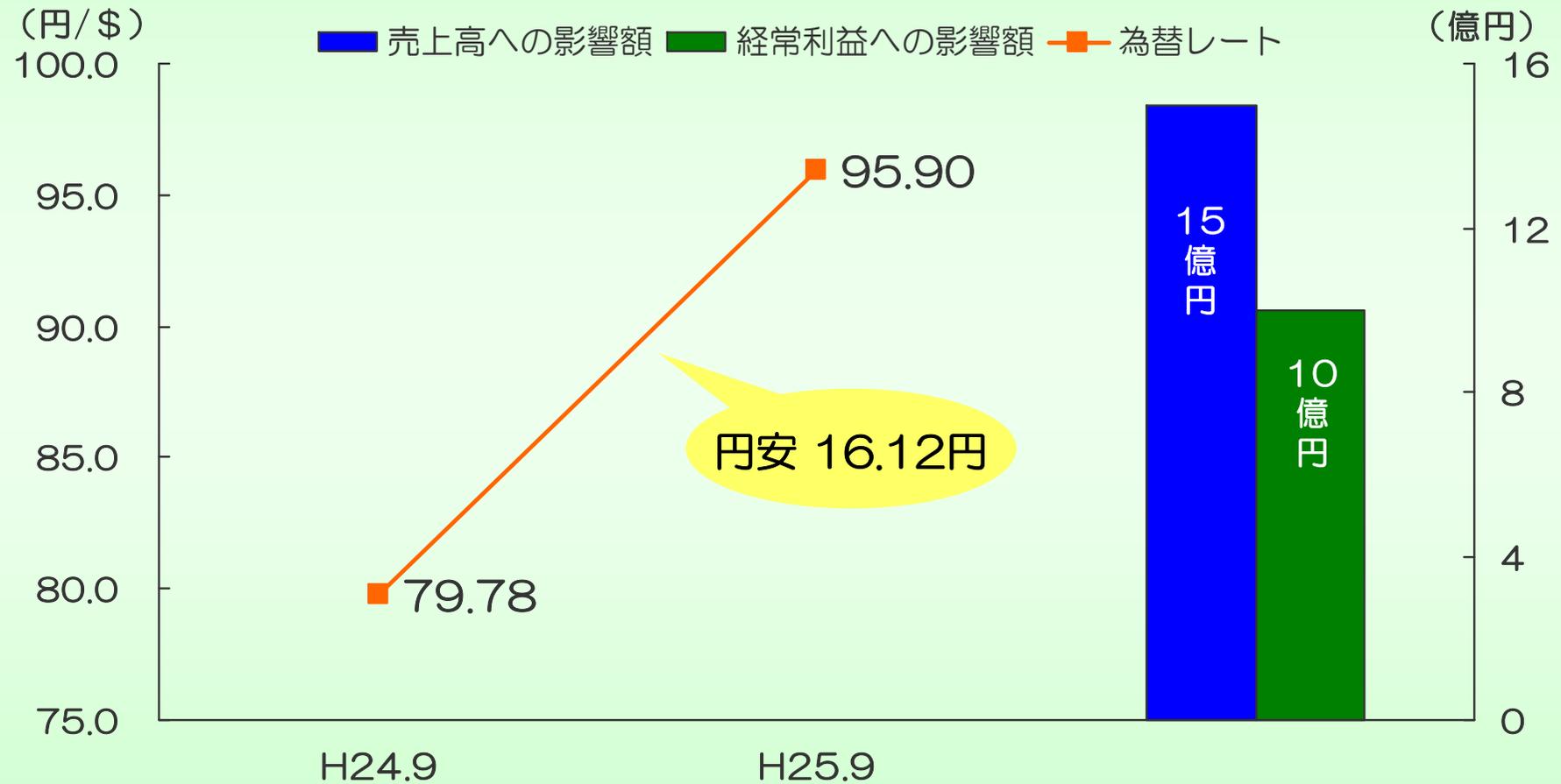
(単位：億円)

	H24/9	H25/9	前年同期比
売上高	474	419	△11.5%
営業利益	7	△5	-
経常利益	12	0	△96.2%
当期利益	23	2	△90.5%
1株利益	15.95円	1.48円	
中間配当	4.0円	3.0円	

連結損益の推移



為替の影響



連結経常利益の変動要因

H24年9月期 経常利益 12億円



増加要因	12億円
合理化・改善の効果	1億円
一般管理費・販売費の減少	1億円
為替の影響	10億円
減少要因	23億円
売上高の減少	12億円
稼働率の低下	9億円
工場移転費用	2億円

H25年9月期 経常利益 0億円

特別損益

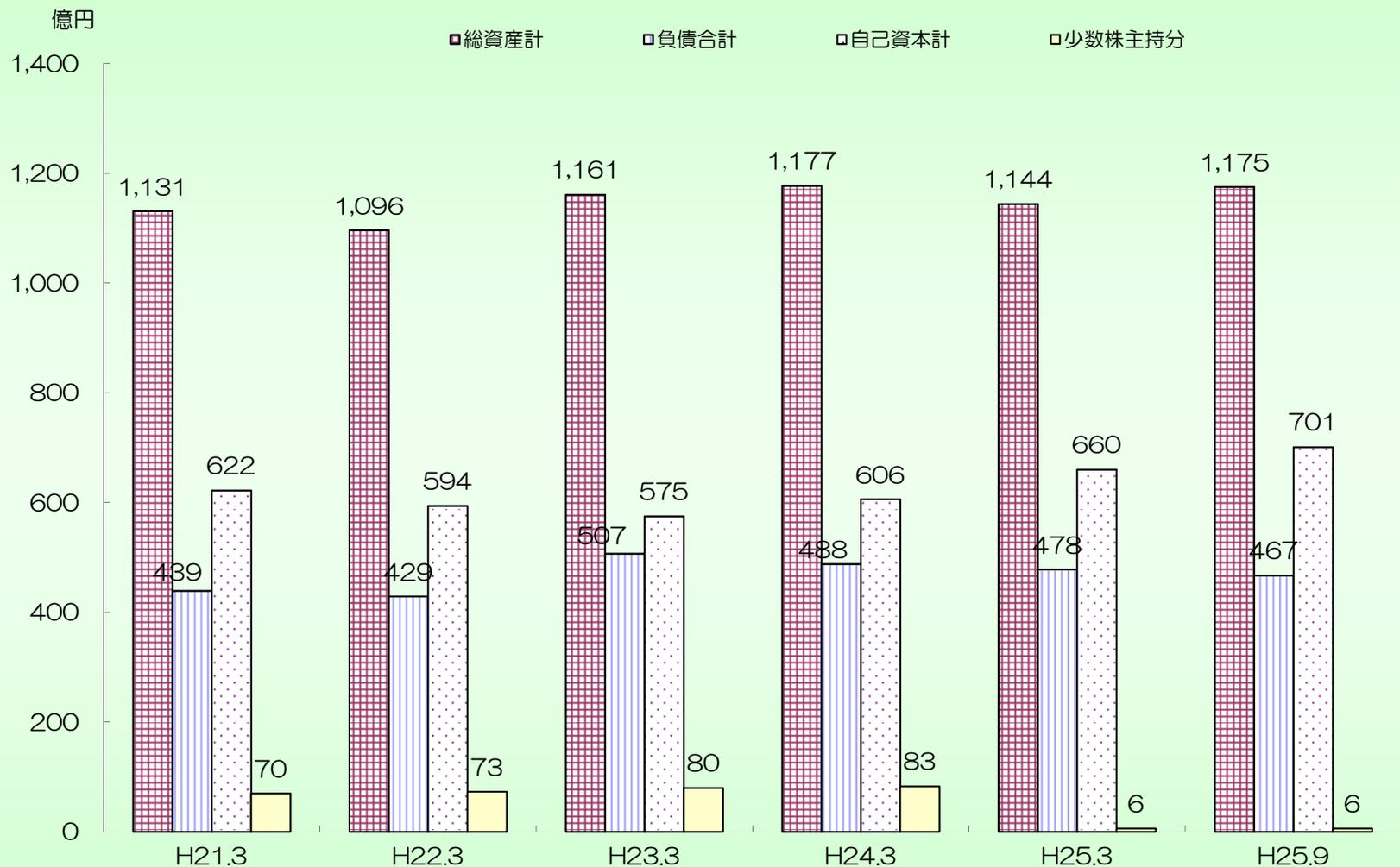
(特別利益)		<u>7.7 億円</u>
内訳	投資有価証券売却益	7.5 億円
	固定資産売却益	0.2 億円
(特別損失)		<u>△0.6 億円</u>
内訳	固定資産処分損	△0.2 億円
	投資有価証券評価損	△0.1 億円
	特別退職金	△0.3 億円

比較貸借対照表

(単位：億円)

	H25/3	H25/9	増 減
総 資 産	1,144	1,175	31
流動資産	531	496	△35
固定資産	613	679	66
負 債	478	467	△11
純 資 産	666	708	42
(内、少数株主持分)	(6)	(6)	(0)
一株当り純資産	441 円	469 円	28 円

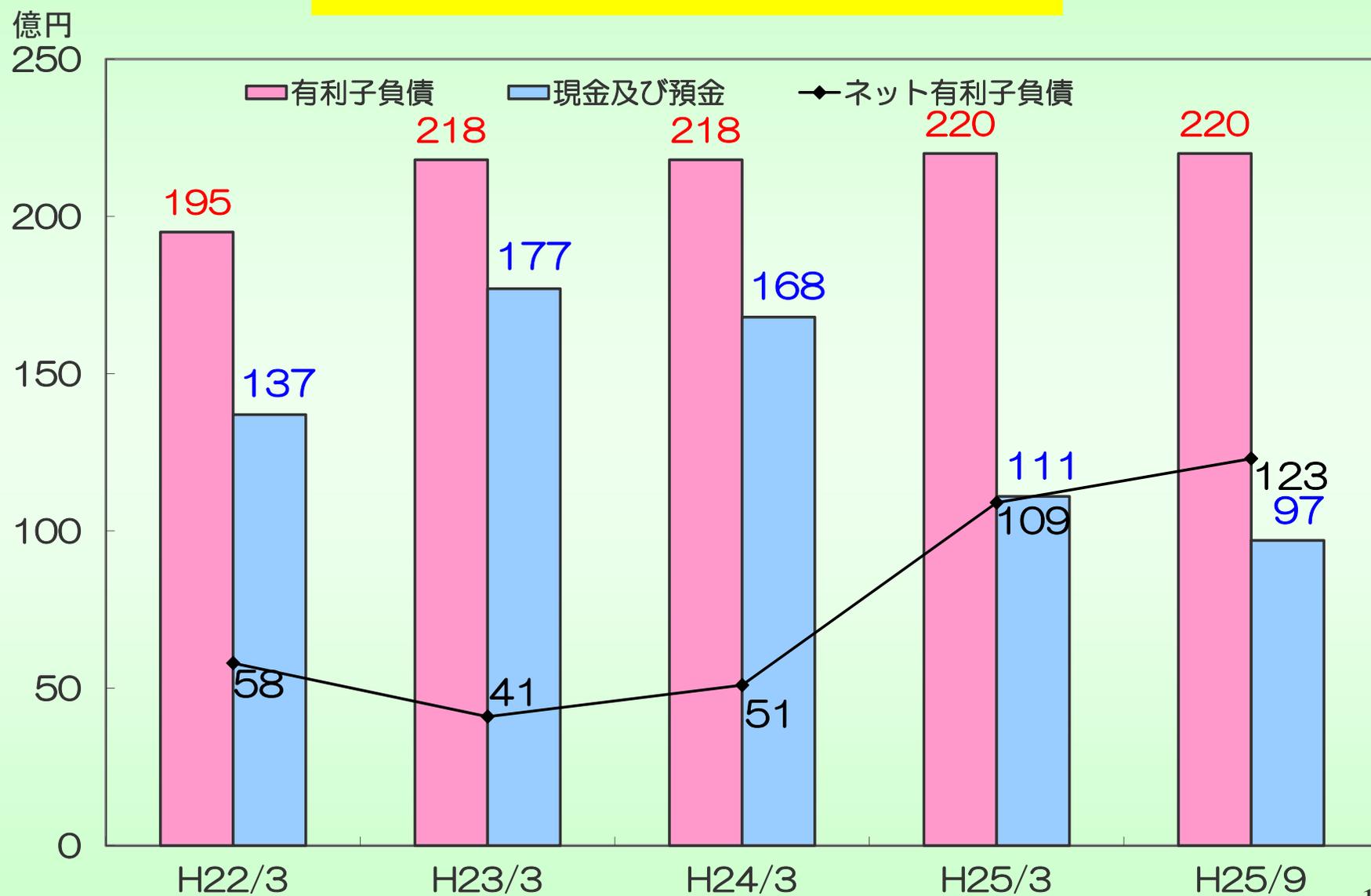
貸借対照表残高の推移



	H21.3	H22.3	H23.3	H24.3	H25.3	H25.9
自己資本比率	55.0%	54.2%	49.5%	51.5%	57.7%	59.7%

10

有利子負債残高



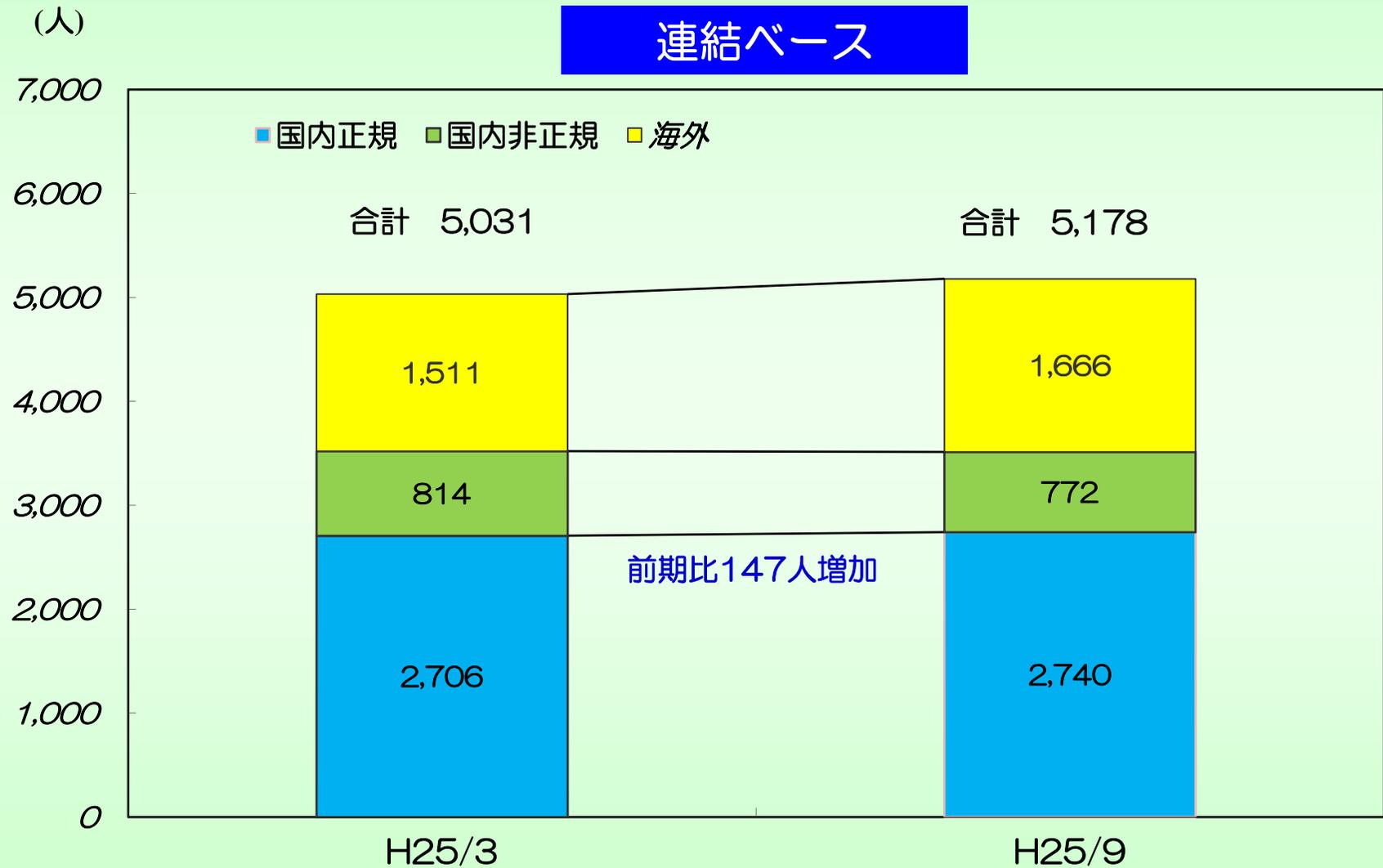
キャッシュフロー

(単位：億円)

	H24/9	H25/9	増 減
営業活動によるCF	3	19	16
(内、法人税等)	(Δ 4)	(Δ 3)	(Δ 1)
投資活動によるCF	Δ 36	Δ 36	0
フリーキャッシュフロー	Δ 34	Δ 17	17
財務活動によるCF	Δ 6	Δ 6	0
(内、長短借入金純増減)	(Δ 0)	(Δ 0)	(0)
現金及び同等物残高	100	72	Δ 28

期末人員数

連結ベース



セグメント別動向

— 事業概況 —

工業機材

研削砥石 ダイヤ・CBN 工具 研磨布紙

セラミック・マテリアル

電子ハート
コア・担体 厚膜回路基板 石膏
蛍光表示管 共立マテリアル

エンジニアリング

乾燥・焼成炉 濾過装置 研削機械等

食器

米州 欧亜 国内

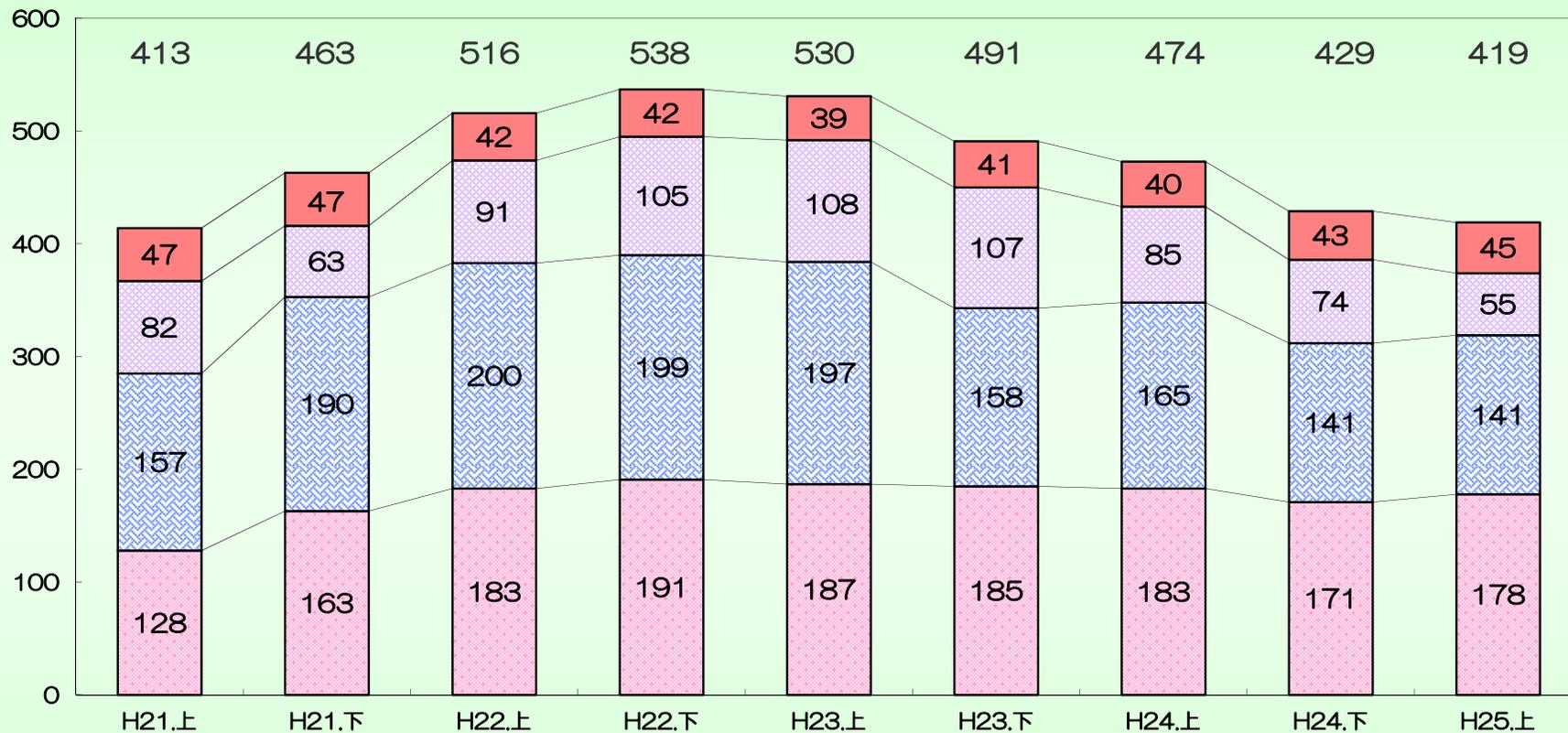
セグメント別売上高（前年同期比較）

（単位：億円）

	H24/9	H25/9	前年同期比
工業機材	183	178	△2.9%
セラミック・マテリアル	165	141	△14.8%
インジニアリング	85	55	△35.1%
食器	40	45	+13.2%
合計	474	419	△11.5%

セグメント別売上高推移

(億円)



□工業機材

□セラミック・マテリアル

□エンジニアリング

□食器

セグメント別営業利益

(単位：億円)

	営業利益		営業利益率	
	H24/9	H25/9	H24/9	H25/9
工業機材	2.6	1.6	1.4 %	0.9%
セラミック・マテリアル	5.0	1.0	3.0 %	0.7%
ITソリューション	2.1	△4.8	2.4 %	△8.6%
食器	△2.5	△2.6	△6.3 %	△5.8%
計	7.2	△4.8	1.5 %	△1.1%

工業機材事業

(単位：億円)

売上高	H24/9	H25/9	前年同期比
研削砥石	70	70	0
ダイヤ・CBN 工具	61	58	△3
研磨布紙	33	33	0
関連商品	19	17	△2
合計	183	178	△5

セラミック・マテリアル事業

(単位：億円)

売上高	H24/9	H25/9	前年同期比
電子ペースト	57	34	△23
セラミック部品	8	7	△1
石膏	10	10	0
厚膜回路基板	16	15	△1
蛍光表示管	19	22	3
共立セラミック原料	33	34	1
共立電子部材	23	19	△4
合計	165	141	△24

エンジニアリング事業

(単位：億円)

売上高	H24/9	H25/9	前年同期比
乾燥・焼成炉	60	37	△23
濾過装置	15	5	△10
研削機械	6	10	4
スタティックミキサー等	5	4	△1
合 計	85	55	△30

食器事業

(単位：億円)

売上高	H24/9	H25/9	前年同期比
米州	10	12	2
欧亜	9	12	3
国内	21	21	0
合計	40	45	5

本日の内容

平成26年3月期

連結業績予想及び

第9次中期経営計画の進捗

平成26年3月期 連結業績予想

(単位：億円)

	H25/3			H26/3				
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期増減	増減率
売上高	474	429	902	419	471	890	△12	△1.4%
営業利益	7	△6	1	△5	9	4	3	+520.9%
経常利益	12	△1	11	0	13	13	2	+13.6%
特別損益	17	△2	15	7	△2	5	△10	-
税前利益	29	△2	27	7	11	18	△9	△33.2%
当期利益	23	△7	16	2	6	8	△8	△51.3%
US\$為替	80.1 円			95 円				

連結経常利益（予想）の変動要因

H25年3月期 経常利益 11億円



増加要因	19億円
合理化・改善効果	2億円
一般管理費・販売費の減少	2億円
為替の影響	15億円
減少要因	17億円
売上高の減少	4億円
稼働率の低下	10億円
工場移転費用	3億円

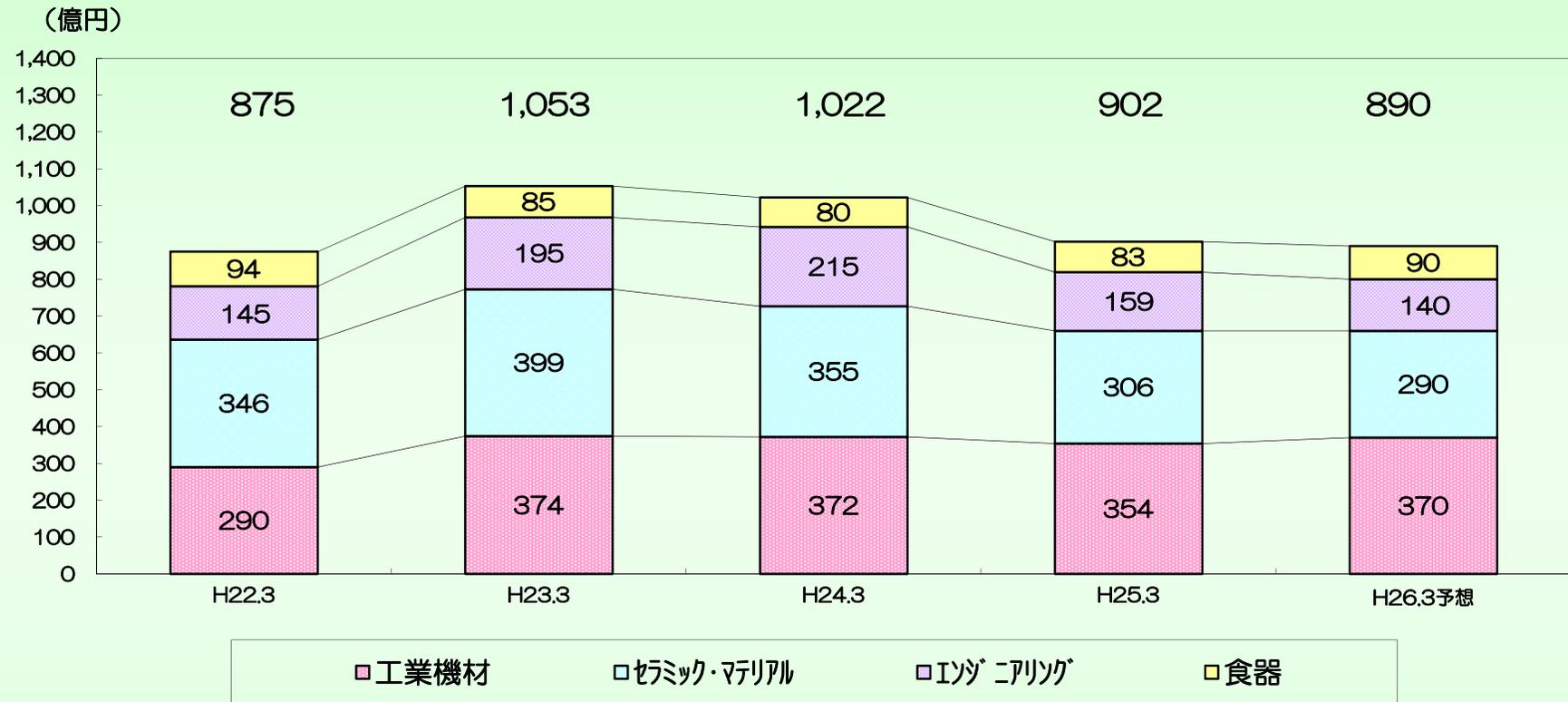
H26年3月期 経常利益 13億円

セグメント別業績予想 (前年度比較)

(単位：億円)

	H25/3		H26/3		増 減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
工業機材	354	△0.9	370	6.0	16	+6.9
セラミック・マテリアル	306	6.4	290	8.0	△16	+1.6
インダストリアル	159	△0.4	140	△6.0	△19	△5.6
食 器	83	△4.5	90	△4.0	7	+0.5
合 計	902	0.6	890	4.0	△12	+3.4

セグメント別売上高推移



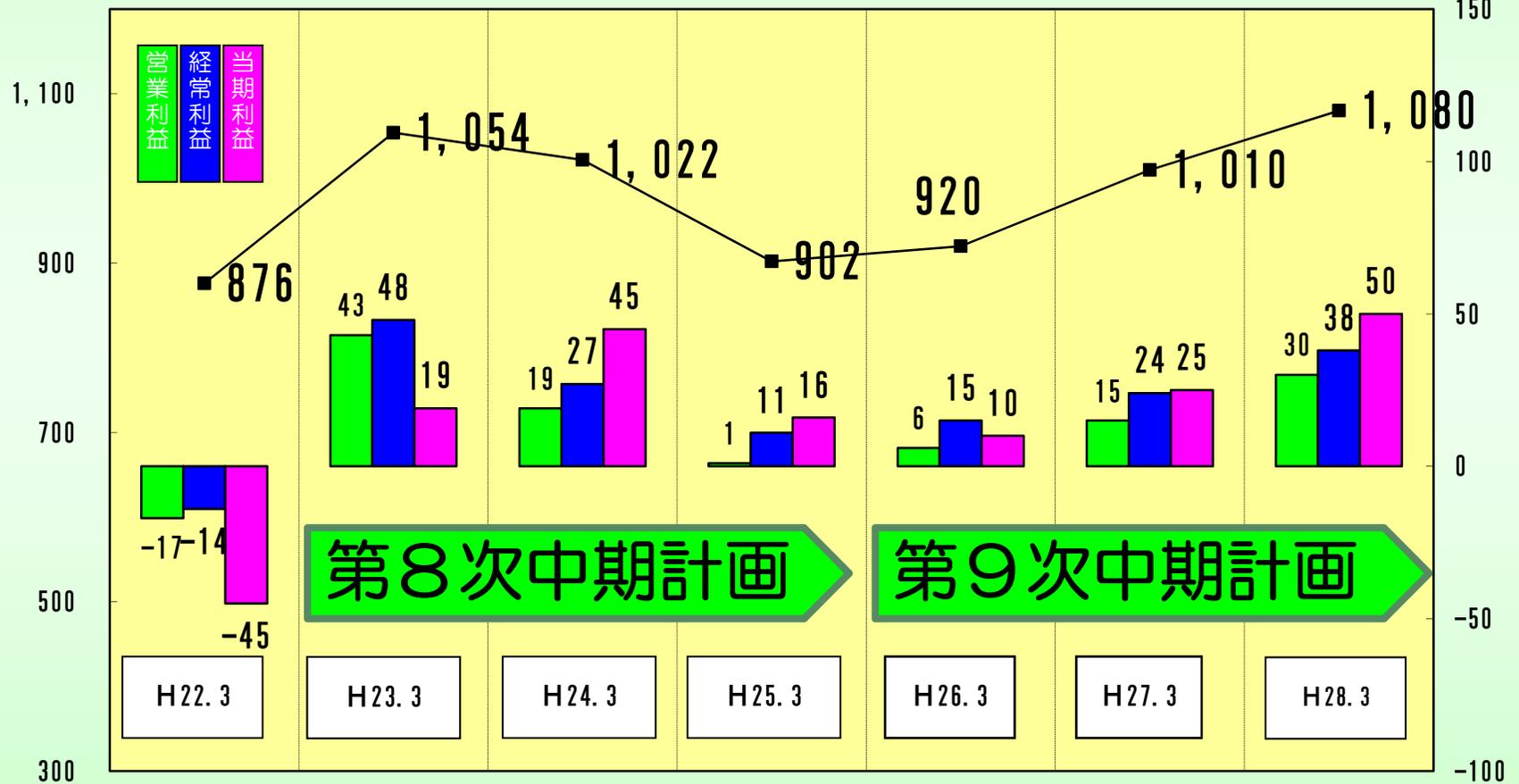
第9次中期経営計画の基本課題

経営課題	変化する市場に迅速に対応すると共に、激しさを増すグローバル競争下において安定的に成長できる事業体制、経営体制を構築する。
経営目標	長期目標として、年間売上伸張率5%、売上高経常利益率7%、自己資本比率50%以上維持、海外事業比率50%を目指す。第9次中期経営計画期間は、長期目標実現の助走期間として位置付ける。
基本戦略	<ul style="list-style-type: none">①価格競争力のある新技術、新商品を開発し、市場競争力を高めて売上拡大を図る。②海外生産拠点の整備を進め、海外市場の開拓と採算性の向上を図る。③効果的で効率的な経営体制及びインフラの整備を推進する。

第9次計画の連結業績目標

売上高（億円）

利益（億円）



第9次計画の事業戦略

工業機材事業

<新商品開発>

ダイヤモンドワイヤーの高性能化

歯車研削、難削材研削用工具の開発

<海外生産拠点整備及び海外市場開拓>

タイ・中国における生産体制を確立する

とともに、アプリケーションエンジニア

を海外拠点に配置し、売上拡大を図る。

第9次計画の事業戦略

セラミック・マテリアル事業

＜新商品開発＞

電子ペーストの新製法による差別化商品
の開発

超微粒子原材料、透光性ジルコニア等の
新製品の開発

＜海外生産拠点整備及び海外市場開拓＞

タイ、インドネシアの工場を活用し、
アジア市場の開拓を図る。

第9次計画の事業戦略

エンジニアリング事業

＜新商品開発＞

タッチパネル用ITOフィルム、MLCC、
SOFC向けの需要に対応

＜海外生産拠点整備及び海外市場開拓＞

アジア地域における海外生産・調達拠点
の強化

第9次計画の事業戦略

食器事業

中国、インド、ロシア等の新興国向けの
販路・販売体制を強化する。

高額商品、上質日常食器の商品ラインナップ
を拡充するとともに海外需要の獲得を目指す。

海外事業の拡大

セグメント別の海外事業比率

金額ベース：％	海外販売		
	25年3月期 実績	25年9月期 実績	26年3月期 計画
工業機材	23	25	25
セラミック・マテリアル	47	43	44
ITツグニアリツグ	30	29	26
食器	49	54	53
合計	35	35	34

海外事業の拡大

セグメント別の海外事業比率

金額ベース：％	海外生産		
	25年3月期 実績	25年9月期 実績	26年3月期 計画
工業機材	3	3	3
セラミック・マテリアル	19	25	23
ITツギニアリツグ	19	15	17
食器	43	49	51
合計	15	16	16

ご清聴有難うございました。

Noritake

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などによって、計画と異なる可能性があることにご留意ください。

35